

占 春 会 報

第22号

〈編集・発行〉 八尾市千塚2丁目95番地 大阪府立清友高等学校
占春会事務局 TEL (0729) 41-3456

ご挨拶

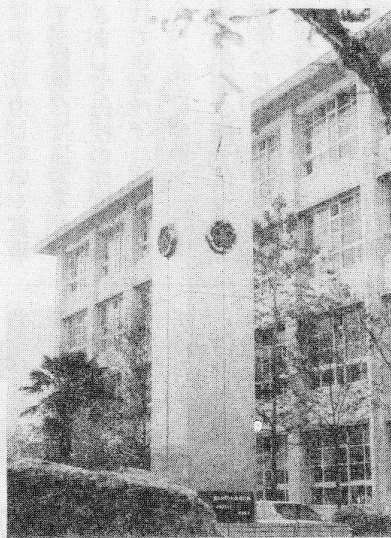
占春会長 河合 隼子

囀る鳥の声に、うららかな春の日射しに、確かな大地の息吹きを感じます。

占春会員の皆様、お元気ですか。母校清友高校は、平成三年四月にお懐しい原田彰先生を校長先生としてお迎え致しました。入学式、卒業式と学校へ出向きまして、親しくお目にかゝれる機会が増えました。先生は、非常に見識の深いお方で、しっかりとした信念をお持ちの方です。実に明解にお話しをなさいます。それでいて、細かい所にもよく気が付かれ、何よりも嬉しい事は、占春会(同窓会)

学校案内

平成3年度



大阪府立 清友高等学校



平成4年卒業生による〔柘榴〕の植樹

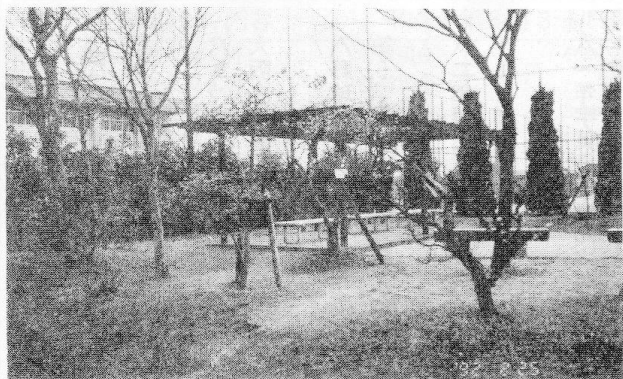
の事を、非常に大切に思っただけで、学校と同窓会の繋がりを大切に感じて下さる校長先生をお迎えしましたことは、この上ない喜びでございます。もう一つ嬉しいことをお知らせ致します。母校清友高校の平

成三年度学校案内に、一昨年の五十周年記念事業として占春会より寄贈致しました「時計塔」が表紙として紹介されました。慶びをこの様にして表現して下さいる母校清友高校へ、心から感謝致します。さて、平成四年卒生の新入会員の皆様、それぞれの進路先で、落着かれましたでしょうか。あなた達の前途には限りなく広がる未来というものをもちなのです。しっかりと足許を確かめて歩んで下さい。

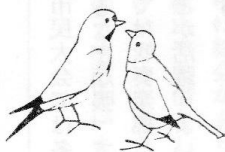
昨年、会報21号ですでお知らせ致しましたが、来年の平成五年には、占春会の大きな事業として、名簿を発刊致します。只今は原簿の整理にかゝっておりますが、まもなく皆様個々に調査カードを送らせていただきます。届きましたら、必ず住所、氏名、勤務先等を

ご確認の上直ぐにご返信下さい。名簿は、母校清友高校を要として、縦横の絆をしっかりと結んでくれるものであると思っております。従って完全に近い名簿を作成したいと思います。会員の皆様もどうぞ協力下さる事を切に願います。

最後に皆様の御健康を念じつつ、母校、清友高校の益々の発展を願ひまして、私のご挨拶と致します。



占春の園



皆様には、ますますご健勝にて
それぞれの場にてご活躍のことと
お慶び申し上げます。

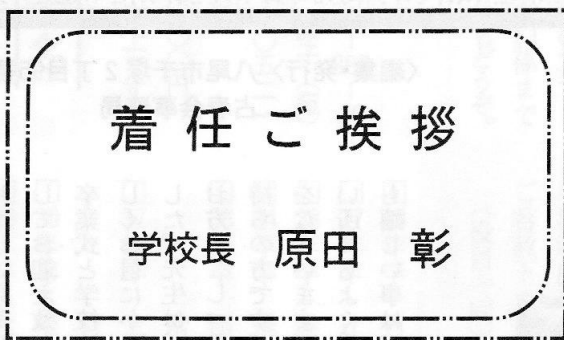
平成三年四月、前校長吉岡一真
先生のあとを受け、本校に赴任し
ました。六年前、本校から転動し
ました時、占春会報でご挨拶をさ
せていただいたのがつい先日のよ
うに感じております。本校の教壇
をおりてから教頭として八尾高校
定時制で三年間、北
野高校で二年間の後、
不思議な縁により再
び、清友高校にて勤
務させていただくこ
とになりました。

この数年で校内の
木々も大きく成長し、
占春の園も落ち着い
た雰囲気をかもし出
して、生徒たちの憩
いの場所となってい
ます。また、創立五
十周年記念の時計塔
は規則正しく時を刻みつつ、後輩
たちの日々の成長、活躍ぶりを見
守ってくれています。これも、皆
様方のご好意による本校へのかけ
がえのない贈り物であると深く感
謝しております。

清友は私にとりまして唯一の教
壇生活の学校であり、教員として
自分を育てていただいた学校でも
あり、実質的には母校といえましょ

う。これからの与えられた年月、
これまでの恩返しとしても誠心誠
意、微力ながら尽力していく覚悟
であります。皆様方には機会を作っ
ていただきまして母校の発展の様
子等に触れていただければ幸いです。

皆様方のご活躍の様子につきま
しては、毎年、どこかの学年、ク
ラス等の同窓会に出席させていた
だきうれしく拝見
しています。また、
保護者の方々から
も皆様方の近況な
どを聞く機会が増
えました。それら
のことからもそれ
ぞれの場において
の責任と信頼の中
での活躍の様子、
新たな自分の生き
方、在り方への挑
戦、生活の充実感
等に接するにつけ、
すばらしいことだと感じるものが
多くなりました。



どうぞ、皆様方には、ますます
お元気でより充実した生活の中
の一層のご発展をお祈りいたしま
す。また、占春会の総会、個々の
同窓会等での情報交換が互いを
高め合う機会になればと思いま
す。今後とも、母校の発展へのお力添
えをお願い申し上げます。

母校だより

教頭 藤原 武則

占春会の皆様、お変わりなくご
活躍のことと存じます。

占春の園の脇に寄贈頂いた創立
五十周年記念時計塔は、日々正確
な時を刻み、生徒を見下ろしつつ、
朝は足を急ぎ立てさせ、夕方は下
校の時間を告げています。

本校生徒、職員ともに校史後半
世紀の一步を踏み出し、日々励み
おります。

ここに平成二年四月以降の母校
の動静を報告致します。

■職員の異動(敬称略)

《転出等》(平成三年三月付)

- 吉岡一真(校長) ご退職
- 富澤栄厚(事務長) ご退職
- 松丸純子(国語) 花園高校へ
- 室谷千恵子(国語) 布施北高校へ
- 吉野精能(社会) 布施高校へ
- 岸口好広(社会) 四条畷北高校へ
- 青木智久(社会) ご退職
- 竹本 隆(数学) 東住吉工高校へ
- 柴 浩司(数学) 花園高校へ
- 内田孝雄(理科) ご退職
- 中野泰三(体育) 八尾東高校へ
- 小野直人(体育) 八尾北高校へ
- 山田邦子(英語) 八尾高校へ
- 妻鹿悦子(英語) 大塚高校へ

- 細田 隆(音楽) 生野高校へ
- 杉本英子(家庭) ご退職
- 松本泰子(実助) ご退職

《着任》(平成三年四月付)

- 原田 彰(校長) 北野高校より
- 中川重弘(事務長) 阿倍野高校より
- 松尾省三(国語) 守口高校より
- 内田隆司(国語) 清水谷高校より
- 山元良平(社会) 高津高校より
- 小川元史(社会) 八尾東高校より
- 山口輝夫(数学) 長吉高校より
- 田口健司(数学) 茨木工高校より
- 馬迫信一(体育) 八尾南高校より
- 新堂達夫(体育) 阪南高校より
- 藪田次夫(英語) 花園高校より
- 山村敏子(音楽) 清水谷高校より
- 山本恵美子(実助) 玉川高校より

《ご結婚》

柴 浩司先生と長井典子先生
(平成三年三月)

《ご出産》

- 奥田 彰(二年四月) 長男)
- 小川雅夫(二年八月) 次男)
- 石原 功(二年九月) 長女)
- 三宅 誠(二年十月) 長女)
- 田中英(三年二月) 長女)

藤田省吾(四年一月) 長女)

○なお、すぐれた成績をあげた部
活動を紹介しますと、

△サッカー部▽

大阪高校総体で府下ベスト8

△野球部▽

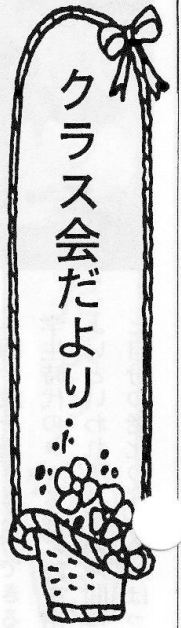
第5学区公立高校野球大会で優勝

△二年坂上哲平君▽がアイスホッ
ケーで昨年、今年国体に出場

△一年宇賀恵子さん▽が女子やり
投げで近畿大会に出場し、二位

などですが、八尾市民大会では多
くの部門で優勝するなど頑張っ
ております。文化系では吹奏楽部、
演劇部、写真部などが活躍、よい
成績をあげています。





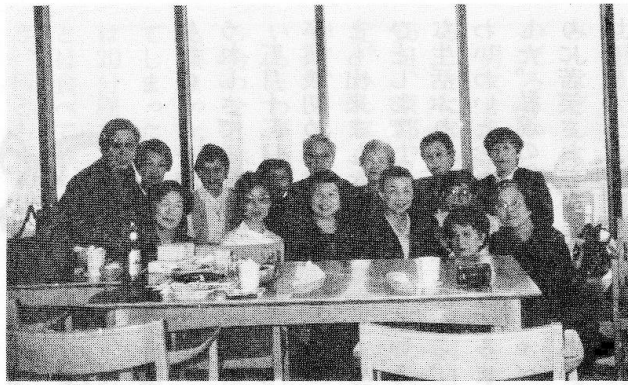
喜和会(気若い)

森田(旧白井)好子

(S20卒い組)

平成三年十一月十七日(日)
大阪大林ビル30階 「なにわ日本料理」

秋晴れに恵れ、年一度七夕祭の様な集まりに遠くは淡路島洲本からも駆附けた方もあり、十五名の参加者。会場は大阪北浜から十分のところ。30階ともなれば大阪城はもとより母校のある生駒、信貴の山々を一望し、ビールで乾杯、



集りに感謝して家路につきました。昨年の会報ですでお眼にとめて頂いてはいますが、平成二年十一月三日、光栄なことに校胸を入った正面に一期生一同からの母校創立五十周年記念碑、占春会寄贈の時計塔の除幕式に四十数年ぶりに登校し参列させて頂きました。美しい信貴の山々、立派な校舎、母校の発展にふれ、感激いっぱいでした。式終了後、食堂を拝借して一期生同窓会をいたしました。西沢小枝先生をお迎えして先づ自己紹介からはじまりましたが、卒業後はお顔を覚えてお目にかゝる方の中にはなかなか思い出せない方もありましたが昔話を楽しく語り合いました。

おいしい昼食を共にし乍ら十代のかわいかった少女時代、学徒動員で工場へ、爆撃の火の中を逃げまわり乍らも生き延びて来た喜びは又一しおでございませう。もうすでに還暦を数年前に迎えた私達、今も第一線で活躍する友、子供さんの結婚を心配をする友、可愛い、お孫さんのお話をする良きおばあちゃん、又御主人を天国に送り一人で生活する人、或いは御主人の跡を継いでけなげに頑張っている方、それぞれの道を懸命に歩んでおられる姿に感無量。私達の喜和会は昭和三十年代に第一回の集いを持ち現在二十七回つづいていきます。その記録が写真と共にくわしく綴り残されています。次々と当番に渡りつがれ、私達の宝物の一つです。元気で再会を喜び合いました。元気で再会を喜び合いました。六名の物故者のお名前が書き出され、一同で御冥福を祈りました。今後此の会が五十回を迎えられたら私達八十五才位かなと思いつ、会場をあとにして、お花や紅葉の美しい中の島公園を歩き東洋陶磁美術館でちよっぴり勉強させて頂き、又々お茶の会、来年も元気でおいしましよと約して一日の

クラス会だより 関 妙子 (S37卒)

卒業後、30年目になりました。37年卒3年C組のクラス会は、特別な思い出のある日になりました。当時のクラス担任だった原田先生が母校の校長先生に就任なさったお祝会になりました。我らが先

『占春会員のみなさま、いつもありがとうございます。』

会計 柳生 和子
会計 植木 功子

占春会員のみなさま、お元気に
てご精励の御事と思えます。母校
も原田校長先生をお迎えして、益々
充実した先生方のもと、良い環境
と相俟って後輩達は勉学にクラブ
活動にと毎日を勤んでおります。
今年もまた、五五三名の占春会
員が誕生し、占春会も会員のみな
さまのご理解とご協力により年追
う毎に同窓会としての内容が充実
して参りました。これらは、みな
さまのご協力の賜物と深謝申し上
げます。
左記に平成三年度会計報告をさ
せていただきます。尚「編集後記」
に明記の通り、本年は総会があり
ませんので、この紙上をお借りし
て会計報告に代えさせていただきます
ますのでよろしく御了承下さいま
せ。

平成3年度 会計報告書 占春会 単位=円

収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
前年度繰越金	6,518,771	会報費	351,992
入会金		通信費	5,760
平成3年度(553名)	2,488,500	会議費	78,600
平成2年度(1名)	4,500	総会費	39,074
記念誌販売代金	108,840	事務費	10,984
寄付金	10,000	慶弔費	50,000
預金利息	238,806	平成3年度	
雑収入	2,450	卒業記念植樹	61,800
		翌年度への繰越金	8,771,657
合 計	9,369,867	合 計	9,369,867

翌年への繰越金の内容 平成4年3月31日現在

富士銀行 東大阪支店	定期預金	4,301,503
富士銀行 東大阪支店	普通預金	7,578
大阪商工信用金庫 生野支店	定期預金	2,000,000
大阪商工信用金庫 生野支店	普通預金	2,462,576
合 計		6,518,771

以上の通り報告いたします。

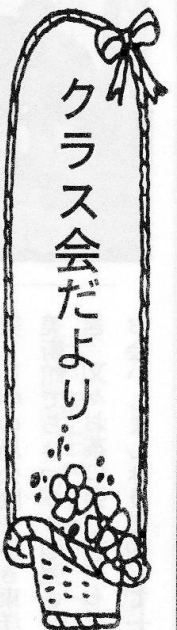
平成4年4月29日

会計 柳生和子
植木功子

上記会計報告について、厳正適正であった事を報告いたします。

平成4年4月29日

会計監査 小林慶子
中野郁子



生”のことを誇りに思うと共に、うれしさで一杯でした。

五月十二日、22名出席しました。卒業後初めての方とも再会することも出来ましたし、なつかしさもひとしおでした。各人、いろいろな生活ぶりを個人発表しながら、わいわいとおしゃべりがはずみまわりました。私達の遠慮のないおしゃべりに苦笑されながら先生は、あの頃と変わらなく聞いて下さいました。

原田先生は、とても気さくでマメでもいらっしゃいます。クラス会には必ず写真撮って下さいます。写真は本当に正直です。お



クラス会だより

ばさん顔をはつきりと写し出してくれますから。ところが、先生だけは変わらず若々しくおられます。先生はいつも人間として、生きるこの大切さを示唆され、自分ひとりではなくいろんなまわりの人からも学びとる心と姿勢が大切なのですと話されます。いつまでも、尊敬する我らの恩師に感謝する旧3年C組は、幸せ者です。

帰路の新幹線の中「あー、今日は又青春出来てよかったナー」と、いささか興奮気味でくつろいでいました。帰宅して、家族にどう話そうと思いつながら、ふと、今日の会食メニューは何だっけ？すぐに思い出せないぐらいすっかり忘れてしまっていました。うれしい事は時間と距離の関係をたのしさに変え、味すらも忘れさせてしまうものようです。横浜もおとなりさんの感覚です。年々再会出来ることのありがたさを感じています。う私です。

ある新聞紙上より
「四十歳を過ぎたら、できるだけ学生時代のクラス会に顔を出すとよいといわれる。昔の仲間に出ると自分の老化の度、いびがはつきり

見えてくるからである。人間は小さな変化には気がつきにくい。毎日鏡をのぞいていても、自分の老化はなかなか自覚できないものだ。クラス会の幹事で老化防止「積極姿勢が若々しさをたもつ」とか。どうりで、お世話下さる方はつらつと若々しくステキに見えました。みなさん積極的に参加することにしましょう。

『出会いは一瞬でした』

宮島 康江 (S8卒)

樋口全毅先生が、昨年春より大阪府立池島高校の教頭先生になられたことを知り、お祝いを兼ねて同窓会を行いました。卒業して19年ぶりの再会は2月16日(日曜日)午後の2時間としましたが、あつ



という間に過ぎて、まさに一瞬でした。当日は、樋口先生ご夫妻(奥様は、体育を教えていただいた田井稔乃先生)と九州からの遠方組を含め31名のクラスメイトと子供達8名の総勢41名が八尾プリズムホール和室に集まりました。

教頭先生になられたお祝いの乾杯をして、みんなで作ったメッセージ集とオリジナルテレホンカードをプレゼントしました。メッセージ集は当日参加できない人も、後で読めば楽しめると思い、5ヶ月前より原稿を集め、写真と短い文章で編集しました。食事をしながら、各自の近況報告をして、樋口先生の御家庭のお話、御結婚のエピソード、子育てのことなどおうかがいしました。ジャンケンゲームや、なつかしいダンスの授業のリズム体操をして、森のクマさんの替え歌、森のガマさんを歌いました。

それから同級生の中で若くして亡くなった故実政みほさん(旧姓田中さん)にみんなで「贈ることば」を合して故人を偲びました。

オリジナルテレホンカード

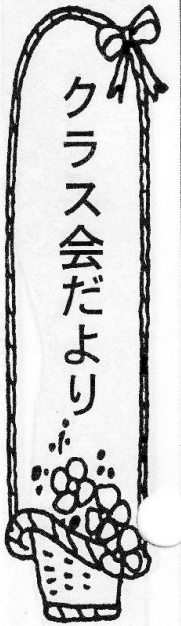
メッセージ集

教頭先生 責任おれど



深谷高校17期三

最後に記念写真をとり終えたころは、ぎこちなかったクラスメイトは、すっかり昔のニックネームで呼び合って高校時代に返っていました。みんな別れを惜しみながらそれぞれの家路につききました。タイムトンネルを通ってまたもとに返っていくような不思議な時間でした。



「26歳の同窓会」

私の実態報告」

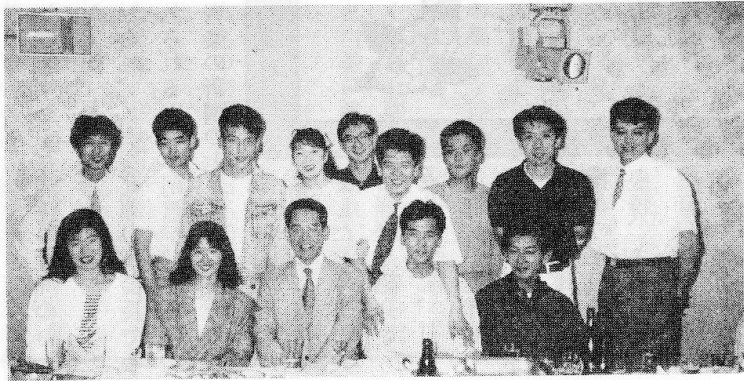
高野 暢子 (S 59卒)

そろそろ同窓会でもしようかということになった。倉田学級（倉田先生は現在、夕陽丘高校で教鞭をとっておられる。）の同窓会は高校を卒業して3年目くらいに1度している。その時は、それぞれまだ大学生だったり社会人になって間がなかったりで、結婚している人も確か、いなかったように思う。その同窓会から早や4年。みんなどんなふうに変わっているのだろうか。

男女2人ずつの4人で幹事をすることになった。日時は6月14日15日、京都で1泊ということに決定。みんなの現住所の確認をとる中で、みんなの近況なんかいろいろとわかってきた。同窓会の打ち合わせと称して幹事4人で何度も集まった。が、少し大人になってしまった私達、同窓会関連の話は20分程でさっさと終わらせ、あとは食べて飲んで歌って騒ぐという、何とも哀しく情けない夜をい

くつも数えてしまったことは言うまでもない。

そんなこんなで同窓会当日がやってきた。やはり女子は「結婚して出産して今、子育てに追われていて一泊なんてとてもじゃないけど無理」という人が多く、4人だけが出席。（私みたいに安逸な日々を送っている人間ばかりじゃない



のだ。男子は10人。そして我が恩師、倉田先生の総勢15人。が、やっぱりこれもみんなが少

し大人になってしまったからなのか（？）ほとんど遅刻。「仕事に忙しくて。」ま、これは仕方がない。そろそろ責任のある立場か何か、そういうのになってやむを得ないことだってあるに違いない。でもそれ以外は何だ。「どうせみんな遅れてくると思って。」いや、ただ何となく。「だどー？どうも総体的にみて、みんな「いい大人」になっていないようなのだ。ちなみに倉田先生も遅刻者のうちの一人だ。

とりあえず、みんな揃ったところで乾杯。豪華な料理をつつきながらの歓談。みんなあつという間に高校時代に逆戻りしたかのようだ。写真を撮ったり、歌をうたったり、近況報告をしあったり、思ひ出話に花を咲かせたり。

さんざん酒を飲み、酒に飲まれていっているうちに、みんな次々と眠りについてしまった。私は、ほとんど朝まで起きていた。バカ騒ぎもおさまり、しみじみと話をしていると、何かひどく感傷的になって涙さえでそうになってくる。いつも、みんなの前で思いきり強く横柄に、時には暴力的にふるまっている私としては少し困ってしまっただ。だが心配するまでもなくこの感傷は長くは続かなかった。朝方ようやく眠りについた私は、浴衣をはだけて、布団をけつとばして

いたらーのだ。そんな私をあまにも哀れに思った男子がそと布団をかぶせてくれたというエピソードで一瞬にして私のセンチメンタルリズムはガタガタと音をたてて崩れてしまったのである。

そして朝、宿酔いでフラフラする頭を抱えつつ、みんなで朝食。その後、有志9人で（つまり暇な人間9人）近くの遊園地で遊ぶ。

みんなはしゃぎまわり元気なこともうあきれれる程に。みんなまだまだ若いということなのか、そのあたりのことは深く追求しないでほしいけれど……。声がかれる程、しゃべり笑った。こんなこと久しぶりだなあと思った。

思ひ出話をすればする程、今それぞれ違う世界で生きているのだという実感がわいてくる。あの頃は楽しかったとしみじみ思う。それは決してあの頃に戻りたいということではなく、今生きている世界が嫌だということでもない。

ただ無邪気で甘くてそして少し切なかつたあの頃、みんなの中で楽しく過ごしていた自分が存在していたのだと再確認できたということが、明日からまた頑張っていくという力になり得るのではないかという気がするのだ。言ってみれば、ただ同じ高校で同じクラスになって知り合った友達、でも何年時を隔てていても会ったらずぐ

笑って、肩をたたき合えるそんな友達が存在が、どれだけ自分を勇気づけてくれることだろう。

帰路、電車で「じゃあ、また。」と言ってみんながだんだん降りてゆく。何か言い忘れたような気がして思わず「待って。」と声をかけそうになる自分を抑える。きりがない。またいつでも会おうと思えば会える。

同窓会で過ごしたひととき、高校時代の無邪気さがよみがえってきた。多分みんなも。そしてみんな現実のそれぞれの世界へ帰っていった。楽しかった再会の思い出、ほんの少しの切なさを残して……

End



□同級生だより (I)

桜の花がほころび始めました。皆様にはご活躍の事と存じます。先月、二月六日の新聞紙上にて私達三十七年卒の同級生滝口千恵子様、八尾市にて文化教室を経営のかたわら、河内木綿の研究に取り組み、ご姉様と綿の栽培畑作りから織り付け仕立てまで、着物を制作完成されました。なつかしさと共に彼女の意欲的なまでの志に同級生としてとても励まされる思いです。どうぞ私達母校の地でもある八尾の河内木綿の伝統文化の灯をともし続け、てくださる様、私達も力強く、ますますのご発展を期待いたしております。

□同窓生だより (II)

同窓生からご活躍の近況のお知らせ。私達占春会書記としておられ、又吹奏楽部OB会長であられる谷村淳司君が、日頃の音楽の研鑽の上さらにご自分の

同窓生便り

辻野 伶子



舞台として出演される事になりました。今までの経歴を紹介いたしますと、H2年に八尾市でレッスンを初められて、KBS京都のど自慢で優勝、さらにH3年テレビ大阪カラオケチャンピオン入賞、その他の大会でも数々の入賞、H3クラウンレコー

ド作曲家竹山荘一氏に師事、H3年10月スターとのゲスト出演とご活躍されております。同窓生の皆様どうぞご声援と拍手を。ますますのご発展を祈り度く存じます。

偲び草

■吉宗貞子さん

S 23年卒 柳生和子
 昨年春まだ浅き三月の初めでした。

吉宗さんの訃報の知らせが入りました。驚きと悲しみで胸がしめつけられる思いでした。

丁度一年前に、彼女から腸の手術をしたのよと電話があり、偶然私も同じ時期に腸を13センチ程切り取ったので、仲のよいことねと、ながながとおしゃべりしたのをきのうの事のように、顔も声も記憶になまなましく残って居ります。

女学生時代からさっぱりした性格で、誰からも好感を持たれ、戦時中登校の途中空襲のサイレン、そして学園での野菜作りなど思い出され目頭が熱くなって参ります。

縁があったのでしょうか、家も比較的近く、お互いに結婚してからの二年程、西淀川区の仮住まいも親しくして頂き、嬉しかった事。またとても世話好きで縁談の仲立や、私の現在の仕事の上でも気立てのよい従業員を紹介して下さいたことなど次々と思ひ起こされま

残念なのはもう一度お元気なう

ちにおしゃべり出来なかつたことが悔まれてなりません。人の寿命の長くなったこの時代、早くして遠い世界に旅立たれた友に、ここからご冥福をお祈りいたします。

■島田寿子さん

S 53年卒 川口和美
 前略。初めてお便りします。それが偲び草に書かなければならぬのが残念で仕方ありません。

53年の卒業生であった島田寿子さんが平成3年9月7日午後4時4分に他界されました。その前年、私は島田さん自身から白血病であと四ヶ月もつかどうかと聞かされたのですが、まるで他人事を話すかの様に明るかったので、とても信じられませんでした。その後、退院し、保母さんに復帰した事や白血球数が正常になった事などで電話や手紙をもらっていたので、やっぱり大丈夫だと安心して

いたのですが、最後に顔を見てから一年ほどで悲しい対面が待っていました。明るくふるまいながらも絶え切れないほどの闘病生活に苦しんだことでしょう。でも故人の顔は笑みさえ感じられるほどきれいでした。けれどその口元から二度と声を聞く事が出来ないと思

うと涙が止まりません。こうして書いてい、同も生前の事や、告別

式の事が思い出されて胸があつくなるばかりです。

人は健康である事をあたり前のように思いがちですが、健康であるありがたさ、健康の大切さを考え直し、一生懸命に毎日を通すべきだと改めて思いました。

最後になりましたが、占春会および会長さんよりご丁寧な弔電を頂きありがとうございます。故人にかわってお礼申し上げます。よろしければ会長さんが打たれた電報を本編に載せて頂けましたら幸いです。

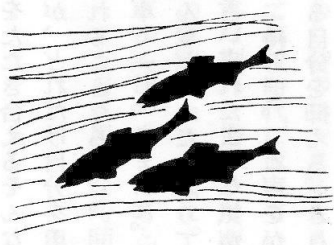
〈弔句〉

月を待たず

ほろほろ秋のこぼれかな

現し世の名月の夜を数日に控えてのご逝去でした。白萩が散りゆくごとく……今はみ仏となられた、島田寿子さま、心からご冥福をお祈り申し上げます。

河合 隼子



名簿発刊における 注意点とお願い

(占春会)

来年夏季の「占春会員名簿」の発刊に向け、同窓会では発刊準備を進めておりますが、発刊については会員の皆様方の御協力がないと成り立ちませんので、何卒御協力下さい。

就きましては、次に掲げました諸点にご注意の上、調査カードや名簿関係の通信物上ではとても発行上の詳細や説明文等を、逐一掲載するスペースが有りませんので、この会報紙上をお借りし、お願い傍通知に代えさせていただきますのでよろしく御周知・配慮下さいませ。

(1)名簿代金・広告・賛助金について

名簿希望や広告、賛助金ご協力の募集もさせていただくことになりましたが、これらの申込は、基本的に調査カードで何冊でも申込が出来ますが、電話や手紙によっても申込みを受付させていただきますので、会員の皆様のお申込みを心からお待ちしております。

尚、広告、賛助金(協力金)の方には、名簿一冊無料送付させていただきます。名簿一冊、三九〇〇(送料含む)円で、広告料(名簿は週刊誌大)は一頁(五万円)、1/2頁(三万円)、1/4頁(二万円)、賛助金は一口、一万円以上で募集させていただきます。広告がご家族の分も受付けていますので奮って御協力下さいませ。

(2)調査カードの回答について

調査カードが届きましたら、カードには皆様現在、占春会にお届出していたお住まい住所等がコンピューターで打ち出しております。これら氏名、旧姓名、住所、電話、勤務先、勤務先電話に相違があれば、各々の下欄に訂正してご送付下されば、修正しますので、(1)の名簿や広告等の申込みがない場合でも、また、調査カードの記載にマチガイがなかった場合でも必ず、直ぐに返信用カードを占春会までお送り下さい。「また次に」と思って放置しますと必ず忘れてしまいますのでカードが届きましたら直ぐにご返信下さい。返信用切手は不要です。返信用カードを切り離してそのまま、投函すれば結構なのです。尚、早目にご回答下さらないと名簿訂正の間に間に合わない時は、古い住所がのったり、不明者になる場合もありますので、早目にお送り下さい。尚、まだ未返信の方がありましたらお教え下さい。

(3)不明者・住所変更・物故の方々の解明にご協力下さい。

占春会より送付させて頂きましたカードや書類には、友人、先輩、後輩、旧職員などのみならず、ご存知の方の確実な住所や電話を一人でも多く記載してご通知下さい。一人でも多くの会員の住所をお知

らせ下されば、不明者も多く解明出来、多くの方の住所確認が出来ます。会員全員のみならず一人一人が、自分の交際ある会員の皆さんの住所を載せてご返信下さるよう特によく御協力お願いいたします。

(4)クラス会・同期会・クラブ会・支部同窓会

などの会を催されました場合又はこれらの名簿をおもちの方は、その名簿を一部、占春会までお送付下さい。

(5)ご家族やご両親様へお願いします。

現在会員のみならずが大学・専門学校に通っておられる場合や又は下宿で親許に不在の場合、また、ご結婚や住所変更で親許住所に調査カードが届いてご本人が不在の場合は必ず送付しました調査カードをご本人にお届下さい。または、ご本人様にご連絡の上必ず記載事項をご記入の上、直ぐにご回答下さいませ。但し、大学生、専門学校生の場合の住所は卒業するまでは必ず両親、親許住所になっていただきますのでよろしくお願いいたします。

(6)名簿は「予約限定販売」です。

会員名簿の販売は、旧職員及び正会員内のみ予約限定販売となっております。広告と賛助金は、卒業生が女子が多い為、どうしてもご主人(配偶者)の関係の広告協力を仰ぐ意味で会員扱い(会員みなし)とさせて頂いております。名簿

は基本的に「これら会員内の限定で会員様一枚の調査カードによって、会員ご本人様より直接正當にお申込みいただき、買っていた」という会員様のみへの販売経路となっておりますので、会員外への販売又は配布は、占春会より特別に依頼した、主に学校関連ご協力出入業者のみの指定された先で、しかも協賛広告をご無理願った業者となっております。従いまして、その他の会員外の方たちへは一切販売や配布は出来ないことになっております。

(7)名簿のお申込みについて占春会より特別にご注意とお願い。

(6)にも掲げました通り、会員名簿は予約限定販売ですので、「お申込み予約」下さった方の分を数量をカウントしてその冊数を印刷する形となっております。従いまして、お申込下さいました方は、その印刷冊数を予定の中に入れ、印刷業者に名簿代を支払う形となりますので会員の皆様におかれましては、お申込み下さった場合は、放置せず必ずお買上げ下さる様特にお願致します。

お申込みいただきながらお振込み頂けませんと不良在庫を抱えることになり、欠損となりますので良識をもってお振込み下さい。調査カードでは、返信カードに一旦お申込の〇印をつけてご返信下されば、後日追って占春会より振込入金の手続書類を送付しますので、〇切りまでに最寄りのどのような郵便局からでもお振込み下さり、その領収書を保管下さい。名簿完

成後(来年平成5年夏)自動的に必ず書籍小包でお届けします。尚、当然キャンセルもあることですので、「申込取消し」も勿論結構です。なお申出下さい。但し、ハガキ、電話などで必ず占春会事務局まできっちり「お取り消し」のご連絡を下されば必ず手続き致します。連絡なしの放置は困ります。場合によっては、名簿をお送りさせて頂くこととなりますので、お取り消しの場合には忘れずに必ず占春会までご連絡下さることを特にご注意とお願いいたします。

尚、特に前もって御了解いただきたいことは、通常、郵便振込みはお振込み後一週間後位して占春会に名簿代金として入金通知があります。未入金者への催促事務は二〜三度させて頂きますが、この作業の為にやむなく凍結した一定の催促事務の期間と、この空白の一週間の間にすでにお振込み下さった場合が重なることが必ず出て参りまして、入金下さったのに催促状が届くことがあり、「送金したのに」とびっくりする事があります。でもご心配いりません。その場合は領収書を保管しておいて下さり、ご自身で確認して下さい。催促状は放置下さい。後に自動的にあなたへの入金通知が郵便局より占春会へ届きますから入金となり次より催促は行かなくなりますので、この点、早々も寛大なご理解の上、郵便振替事務では日常よくあるトラブルですのでこれらのことは、占春会より予め通知があったこととしてご承知下さいます。

おねがい

賛助にご協力を!

会報22号は、会員名簿発刊準備号の為、卒業生全員に送附しました。来年度23号からは、49年卒業以前の方達へは、賛助金振込者のみに送付される事になります。従って、49年度以前の卒業生の方で、会報購読希望の方は、左記係まで送金下さい。お問い合わせもどうぞ。

平成3年度賛助者ご芳名

〔敬称略〕

左記の方々は、平成3年度中に賛助金をお振込み下さった方々です。厚く御礼申し上げます(但し昭和49年卒業以前の賛助者)。締切りと印刷の関係で最近お振込み下さった方でご芳名を掲載出来なかった場合は何卒ご容赦下さいませ。(役員一同)

〔送金先〕

〒631 奈良市中山町西1-868-39
小寺 康子(宛)

電 〇七四二一四七〇五二一

〔会報購読希望の方〕

賛助金、一口、三、〇〇〇円
以上です。

寄附金ご芳名

本年度は左掲の方々から寄附金をお願いいたしました。紙上をお借りし厚くお礼申し上げます。

〔敬称略〕

- 行俊 澄子 (43年卒)
- 河村 美子 (33年卒)
- 巻島 明子 (28年卒)
- 野口寿鶴子
- 相沢久美子 (44年卒)
- 奥山 裕子 (37年卒)

- 23年卒 竹村 治子 (三宅)
- 27年卒 辻村喜代子 (寺口)
- 28年卒 巻島 明子
- 34年卒 飛田 和代
- 36年卒 西村 久江 (結城)
- 37年卒 常ヶ平淳子 (己波)
- 37年卒 土井美佐子
- 37年卒 竹本 孝子
- 39年卒 松下ヌイ子 (大東)
- 40年卒 大久保綾子
- 40年卒 船津 厚子 (藪田)
- 40年卒 福留 順子
- 40年卒 永井 幸子
- 43年卒 示野 安子 (上田)
- 43年卒 仲村 英子 (森井)
- 45年卒 井原由美子
- 45年卒 牧野恵美子 (中川)
- 46年卒 榎村 晴香 (北口)
- 48年卒 早瀬多喜子
- 49年卒 筒井 子 (佐伯)

「名簿発刊作業進行時に おける住所変更連絡先のおしらせ」

名簿発刊作業のない通常の年においては、現在は書記係の辻野伶子さんと安井美幸さんにご無理とご苦勞をおかけして住所変更の連絡先(名簿係)として大変ご尽力とご迷惑をおかけしています。今回の名簿発刊におきましては、皆様一人一人のお手許に直接占春会より占春会が代金払いの返信調査カードをお送りして占春会事務局

おしらせ

37年卒業の皆様
30周年の合同クラス会を平成4年9月27日に12時から、足まわりの比較的良好い上六なにわ会館で行います。

(A) 東幸子 奥山(荒牧)裕子

(B) 安田(片山)恭子 河田(北原)義子 竹本孝子

(C) 西野(田中)治子 鈴木(野田)久美子

(D) は私、永田明美

が幹事として、詳しい御案内は追って各クラスごとにお知らせ致します。今から9月27日をどうかあけてお待ち下さい。できるだけ多勢の方と楽しく過ごしたいものと思っております。

宛返却として一括してまとめますので、名簿発刊作業時に於いては、上記お二人様の方へ郵送や名簿に關するお問い合わせは一切お避け下さる様切にお願いいたします。別途ご用件のある場合は占春会事務局の方へ直接ご連絡下さい。名簿発刊作業のない年は今まで通り引きつづき書記係の方で受け付けていただきます。連絡先はそのつど占春会報上に逐一明記し皆様にお知らせいたします。どうぞご協力とご周知の程呉々もお願い致します。 占春会事務局

編集後記

□ 本年の総会について、来年、名簿発刊の祝賀をこめて、パーティを開き、平成三年卒、平成四年卒の人達も優待する予定です



事務局からの 揭示板

ご協力下さい!

異動通知を必ず 出しましょう!

- ・結婚
 - ・転居
 - ・改姓名
 - ・物故
- などの時、ハガキでけっこうです。必ず事務局までご一報を。

で、今年の総会を取り止めます。そのため会計報告は、この会報の紙面で報告致します。

□ 新名簿購入ご希望の方は、占春会より送付される名簿用調査ハガキにてお申し出下さい。一冊三、九〇〇円(送料含む)です。

□ 毎回申し上げるのですが、卒業生の方で、同期会、クラス会等を催された場合、そのご報告等の原稿をお送り下さい。

□ 先生方が異動されることが多くなりました。清友高校もフレッシュな先生方の顔ぶれで、教育に専念されておられます。先生方に古きよき清友を認識して頂くために、会員の方達は、同窓会活動にもっとしっかりとお協力をして欲しいものだと思います。